

局所性ジストニアは脳の運動や感覚に関わる部位の機能異常を伴う脳神経疾患である。本研究では、非侵襲の経頭蓋直流電気刺激（tDCS）を両側の運動野に印加した両手鏡像運動を実施することにより、局所性ジストニアによる脳機能異常を正常化できるかを検証する実験を行った。手指に局所性ジストニアを罹患したピアニストに対して、3日間の介入を行った結果、段階的な巧緻運動機能の向上が、患側の手指に認められ、健側の手指には認められなかった。介入による手指の筋の同時収縮量の低減ならびに筋活動パターンの変化も認められた。

tDCS 介入訓練効果の経日的な変化

tDCSを用いた介入を3日間実施した際の
介入前後の手指の巧緻運動機能

